

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

今そこにある笑顔のために

中日新聞社会事業団

理事長 林 寛子

「いやあ、今日は高校入試の合格発表があって、子どもたちから合格の知らせを受けていて…」

雪道を車で駆って到着した児童養護施設の施設長は、息を弾ませ、開口一番、笑顔を見せた。中日新聞岐阜支社で、今年二月に行った「中日ロボラぎふ就学支援金贈呈式」でのこと。岐阜県児童福祉協議会に支援金目録をお渡しするので、県内の児童福祉施設の方々にお集まりいただいた。セレモニーの後も、子どもたちの巣立ちの話題で盛り上がる。

進学する子、就職する子の話から、これまでに巣立っていった子どもたちの話まで。大人になっても付き合いは続き、お酒を酌み交わしたり、今度は施設の子どもたちのために何かできないかと協力してくれたり。「もちろん、そういう例ばかりじゃないけど、うれしいですよ」と施設長たちは、深くうなずき合っていた。

世界情勢は不透明感を増し、自然災害は追い打ちをかけるように各地を襲う。そんな世相への不安を背景にして、「正義」を振りかざした他人への理不尽な攻撃が止まらない。灰色のベールに覆われて、明るいニュースが見えづらい。

けれど足元では、この社会福祉の現場で、そこここに、うれしい話は生まれている。中日青葉学園でも三月の「巣立ちの会」で、卒園する子どもたちが、未来へ向けての素晴らしいスピーチを、学園での思い出や職員への感謝の言葉とともに披露してくれた。

育ってゆく子どもたちの姿、彼ら彼女らの笑顔は、いつの時代もこんなにも輝かしいのだとあらためて思う。

子どもたちばかりではない。支援を必要とされるいろいろな方々に、地域の皆様からの善意をお届けできたとき、笑顔のバトンを手渡すことができたと感じる。

中日新聞社会事業団が昨年度初めて行った「社会福祉事業助成金配分」事業では、「真に必要なところへ、よりきめ細やかに」を趣旨として、愛知、岐阜、三重の 17 団体に助成金をお分けした。対象は、児童福祉、障害者福祉、老人福祉の各分野にわたる。

配分後、助成を受けた各団体からは報告書が届く。助成金で改修された施設のトイレ、屋根、作業所が購入した新しい機械など、写真も添えられている。それを見て「ああ良かった」と、事業団事務局にも笑顔が生まれた。地域の皆様の善意のおすそ分けを、こちらもいただいている。感謝しかない。

これからも地域福祉のさらなる充実に向け、足元からコツコツと努めてゆきたい。

本部(名古屋)

主催・共催・後援事業は、110件を実施した。また、法人運営が円滑に進むよう、各支部と緊密な連絡をとりながら取り組みを実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童福祉施設等支援事業

愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業などについて共催、後援事業として支援を行った。



(2) 社会福祉事業助成金配分事業

・愛知、岐阜、三重県の社会福祉施設、団体の社会福祉事業に対して、1件あたり最大200万円の助成を行った。10月1日から11月29日まで募集したところ54件の応募があり、審査の結果、17件2473万円を助成した。

	申請団体	申請施設	種別	申請内容
愛知県	特定非営利活動法人 障がい者支援センター金山	わーく金山	就労継続支援B型事業所	レーザー彫刻機の購入
	特定非営利活動法人 まいゆめ	重病児デイサービスmini	児童発達支援 放課後等デイサービス	防災グッズの購入
	特定非営利活動法人 レイジング・C	レイジング・C	放課後等デイサービス	車両購入
	社会福祉法人 研修福祉会	研修南保井育園	保育所	屋上の防水工事
	特定非営利活動法人 ごとべえの会	ごとべえの家	就労継続支援B型事業所	電線剥離機の購入
	特定非営利活動法人 高次脳機能障害友の会みずほ	ワークハウスみかんやま	就労継続支援B型事業所	車両購入
	社会福祉法人 清新会	清新館	生活介護事業所	防水改修工事
	社会福祉法人 みかわ	たかはた	グループホーム	空調設備の交換及び新設工事
	特定非営利活動法人 MOVE	ピース	相談支援センター	車両購入
	特定非営利活動法人 つくし	聴覚・ろう重複センター葵	障害児相談支援・ 指定特定相談支援事業所	車両購入
	社会福祉法人 青大悲福祉協会	清月荘	養護老人ホーム	冷却水ポンプの取換工事
	社会福祉法人 大樹会	ケアハウスルビニ大治	混合方特定施設入居者 生活介護施設	トイレ改修工事
	社会福祉法人 ネットワークみやび	もりおか うえまつ	特別養護老人ホーム グループホーム	厨房機器の買い替え
岐阜県	社会福祉法人 和敬会倶楽部	デイサービスセンターふくろうの杜北館	デイサービス	リハビリ機器の購入
	特定非営利活動法人 かがやき	たんぼぼファーム	就労継続支援B型事業所	車両購入
三重県	社会福祉法人 聖マッセヤ会	聖マッセヤ子供の家	児童養護施設	分園型グループホーム内の修繕
	特定非営利活動法人 南勢子どもの発達支援センターえがお	えがお	児童発達支援 放課後等デイサービス	機能回復訓練備品の購入

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立ててほしい」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに、交通事故で親を亡くした子どもたちのために行う支援事業。夏には恒例の大相撲招待も実施した。後援した「中学を卒業する交通遺児を励ます集い」は3月16日に開かれ、交通遺児とその保護者が集い、支援者や関係者などが交通遺児の健やかな成長を願って激励。事業団から図書カードを贈った。



b. 障がい者

地域社会での障がい者福祉の増進、理解および交流を深めることを目的に、肢体・聴覚・視覚・精神・知的などの障がい者団体が主催する講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. その他

・福祉の星フォーラム(2月1日)

地域共生社会に向けて、共に生きる社会を考え、発信していく目的で開催。パリ五輪卓球女子団体で銀メダルを獲得した平野美宇選手の母真理子さんが「母として、コーチとして共に輝く「卓球教室」」と題して講演し、約110人が参加した。

共催: 中日新聞社、愛知県社会福祉協議会、NHK 名古屋放送局、NHK厚生文化事業団



(2)社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a.障がい者

- ・あいちアール・ブリュット展(9月12日～3月16日)

愛知県内の障がい者の芸術・文化活動を通じて、障がい者の社会参加や、地域住民の障がいに対する理解を深め、障がいの有無をこえた交流が広がることを目指し、障がいのある人からの公募作品や過去の入選作品、企業のノベルティに採用された障がい者の作品等を展示。また芸術系大学の教員が障がい者施設を訪問する、アート出前講座などを行った。

b.その他

- ・年末助け合い運動(11月25日～12月27日)

年末の1ヶ月をキャンペーン期間とし、本部には271件、約2,016万円が寄せられた。愛知、岐阜、三重各県の生活保護家庭の小中学生にお年玉を贈るほか、福祉事業に助成した。

- ・公益事業に対する支援

▽生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて4,237人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,500円、中学生2,500円)を贈呈した。

	小学生		中学生		合 計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額
愛 知 県	909	1,363,500	490	1,225,000	1,399	2,588,500
岐 阜 県	214	321,000	143	357,500	357	678,500
三 重 県	434	651,000	276	690,000	710	1,341,000
名古屋市	1,089	1,633,500	682	1,705,000	1,771	3,338,500
合 計	2,646	3,969,000	1,591	3,977,500	4,237	7,946,500

▽東海地区特別支援教育振興資金贈呈

心身障がい児や高機能自閉症児、学習障がい児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺(犬山市)と同信徒団体「索(なわ)の会」から寄託された激励金を愛知、岐阜、三重県の各難病者団体に贈呈した。

	団 体 名
愛知県	愛知県難病者団体連合会
	日本リウマチ友の会 愛知支部
	プラダー・ウィリー症候群児・者親の会
	全国筋無力症友の会 愛知支部
	愛知県網膜色素変性症協会
	愛知県腎臓病協議会
岐阜県	岐阜県難病団体連絡協議会
	岐阜県網膜色素変性症協会
	IBD 岐阜ちょう会
	岐阜県パーキンソン病友の会
	岐阜県腎臓病協議会
三重県	三重難病連
	全国パーキンソン病友の会 三重県支部
	三重県乾癬の会
	日本オスラー病患者会東海支部
	みえ als の会

(3)災害援護に関する事業

当年度はなし。

(4)保健医療相談支援事業

当年度はなし。

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社（北陸中日新聞）、富山支局と緊密な連携をとりながら各県内の関係機関、団体などの協力を得て当年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

（1）社会福祉事業に関する助成を行う事業

- ・大井中日就学(職)支援（3月1日～31日・石川県内児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として当年度も実施した。

県内にある児童養護施設7施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち19人に新生活の準備に役立ててもらおう。

（2）児童養護施設等支援事業

- ・児童養護施設入所児童を北陸中日新聞主催「^{きんぎょびしょう}金魚美抄(金魚をテーマに様々なアート作品を集めた展覧会)」に招待

年1回、北陸中日新聞主催事業に石川県内の児童養護施設に入所している子ども達を招待。当年度は石川県内の7施設に招待案内を出したところ、7施設から申し込みがあり、計107名を招待した。

- ・乳児院に図書カード贈呈（7月1日～31日・石川、富山県内）

石川県内の乳児院2施設、富山県内の乳児院1施設に、1施設あたり20,000円の図書カードを贈呈した。

（2）助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

- ・年末助け合い運動（11月25日～12月27日・石川、富山県内）

中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、15件、608,339円の募金が集まり、石川・富山県内の障がい者就労施設7施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

当年度はなし。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

・「金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催している大会。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、参加記念品の購入費用を助成した。

(3) 災害援護に関する事業

当年度はなし。

東海支部

中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、恒例の主催事業や児童養護施設からの要望を踏まえた支援を行うなど社会福祉事業にも力を入れ、静岡県下での当年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1)児童養護施設等支援事業

- ・児童養護施設すみれ寮入所者の誕生日プレゼント補助金贈呈(4～3月)
児童養護施設すみれ寮の施設予算だけでは誕生日に入所児童らの希望するプレゼントを購入できないことから、小学生以下(6人)に各 2,000 円、中学生以上(8人)に各 4,000 円の補助金を贈呈した。
- ・「静岡県児童福祉施設夏季スポーツ交流会」に対し参加賞購入費の一部を助成(8月 22 日)
施設間交流と多種スポーツ体験を通じて心豊かな児童となることを目的として開催されるもので、参加賞として配られる菓子の購入費用として 20,000 円の助成を行った。
- ・静岡県西部地区児童養護施設出身の大学生らへ年末生活支援一時金を贈呈(12月12日)
生活が困窮しがちと言われる児童養護施設出身の大学生らに対し、静岡県西部地区児童養護施設4カ所を通じて、該当する11人に年末生活支援一時金各 30,000 円を贈呈した。
- ・静岡県西部地区児童福祉施設入所の小学校新入学児童へランドセル贈呈 (2月7日)
静岡県西部地区児童養護施設入所の令和7年度小学校新入学児童4人にランドセルを贈呈した。
児童養護施設まきばの家で行われた贈呈式では、早速ランドセルを背負って嬉しそうな笑顔を見せていた。



贈呈ランドセルを背負った新入学児童
＝児童養護施設まきばの家で

- ・静岡県西部地区児童福祉施設入所者の中学校卒業生へお祝い金贈呈
(3月28日)

静岡県西部地区児童養護施設4カ所に入所している令和6年度中学校卒業生徒14人に、激励の意を込めて各30,000円のお祝い金を贈った。代表して児童養護施設清明寮に入所している生徒が受け取り、高校生活への抱負などを語った。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・第46回静岡県ボランティア研究集会(2月23日)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくり強化を目的とした集会。会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

- ・第37回静岡オレンジマラソン大会(11月15日)

静岡県内の知的障害者が日ごろの体育活動の成果を発揮することなどを目的に開催。大会を後援し、1,500mの部入賞者に対してメダルを贈呈した。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、(特非)静岡県作業所連盟

b. その他

- ・第41回中日ボランティア賞

(贈呈式＝10月17日)

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を顕彰する主催事業。

静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より20件の推薦を受けた。

受賞6団体(静岡県西部4団体、中部2団体)を選考委員会で決定し、贈呈式で賞状と奨励金(一団体150,000円)を贈った。



第41回中日ボランティア賞受賞団体代表者ら
＝浜松市で

・浜松市内ひとり親世帯の小・中・高生を対象に学業奨励(新聞購読)事業

(8月1日～31日)

浜松市在住のひとり親世帯の小・中・高校生に対し、長期休暇中の時間を有効に使って新聞に親しみ、時事問題への興味や読解力向上に役立ててもらうことを目的に、こどもウイークリーや中日新聞朝刊を届けた(こどもウイークリー10部、中日新聞朝刊18部)。また希望者には中日春秋書き写しノートも贈った(12冊)。終了後のアンケートでは、「コラムをノートに写していた息子が、いろいろな時事の事柄に触れ見識が広がったと思います」「子どもたちと一緒に紙面を見ながら話す機会になりました」などと書かれ、好評だったことがうかがえた。

・第43回ふるさと知名人チャリティー色紙展(11月16日、17日)

静岡県にゆかりのある知名人(画家・書道家・版画家・漫画家など)から、色紙作品の寄贈を受け、展示。来場者が一枚4,000円で購入(一部入札あり)、その収益金を寄付金とする主催事業。

中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店の協力を得て開催。

経費を除いた収益金のうち802,000円を年末助け合い運動資金に加え、536,000円を静岡県社会福祉協議会に贈った。



チャリティー色紙展展示風景＝浜松市で

・年末助け合い運動(11月25日～12月27日)

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は49件、総額で2,890,396円となった。

・静岡県西部地区生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈(12月13日)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の中学生178人(浜松市131人、湖西市6人、磐田市6人、袋井市21人、掛川市10人、御前崎市4人)に、激励の意を込め各5,000円分の図書カードを贈った。

・ドラゴンズ井上新監督トークショーおよびチャリティーオークション

(1月13日・グランドホテル浜松)

浜松市で中日新聞東海本社が開催したドラゴンズ井上新監督トークショーを後援し、入場者を対象とした井上監督や平田コーチのサイン入りグッズのチャリティーオークションを中日新聞社会事業団の主催で行った。

売上金 183,001 円を社会福祉事業資金として計上した。



チャリティーオークションでサインする
井上監督＝浜松市で

・静岡県西部地区生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

(2月17日)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童 37 人(浜松市24人、湖西市1人、磐田市4人、袋井市5人、掛川市2人、御前崎市1人)に各 3,000 円分の図書カードを贈った。

・社会福祉事業資金造成 第 41 回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

(3月19日)

社会福祉事業資金造成を目的として豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。チャリティー基金として参加費の一部の 87,000 円を社会福祉事業資金として計上した。

・第 40,41 回スズキビジネスチャリティゴルフ大会

(7月10日、12月11日)

地元企業が主催するチャリティゴルフ大会。浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募る目的で開催しており、本大会を後援した。

主催：株式会社スズキビジネスチャリティゴルフ大会実行委員会

・静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成(5月・静岡県)

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会は毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として 50,000 円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

東京支部

本部や中日新聞東京本社(東京新聞)と緊密な連携を取り、東京都を中心とした関東の各都県で、社会福祉事業を実施した。

◇社会福祉事業

・寄付の受付、「年末助け合い運動」募金の実施

東京新聞の協力を得て、寄付の受付や「年末助け合い運動」募金(11月25日から12月27日まで)を行った。寄せられた善意は、計57件、1,238,085円になった。

・社会福祉施設への助成

各都県の社会福祉施設(10施設)にて使用する物品の購入費用に対して助成した。助成事業実施に際しては、東京善意銀行(東京都社会福祉協議会)、神奈川、埼玉各県の県社会福祉協議会、千葉県児童福祉施設協議会の協力を得た。

施設名	所在地	種別	助成対象事業
日本点字図書館	東京都新宿区		録音雑誌提供のためのCD複製機の購入
谷在家福祉作業所	東京都足立区	生活介護就労移行支援	プラスチックパレット(運搬用荷役台)
至誠キートスホーム	東京都立川市	特別養護老人ホーム	車いす体重計
さくらえん	東京都武蔵野市	特別養護老人ホーム	ロボット掃除機
手まり学園	神奈川県愛甲郡愛川町	児童養護施設	冷蔵庫
あおばと	神奈川県中郡大磯町	認定こども園	おさんぽスワニー
(千葉県内施設)	—	母子生活支援施設	コンパクトデジタルカメラ
房総双葉学園	千葉市稲毛区	児童養護施設	衣類乾燥機
(埼玉県内施設)	—	母子生活支援施設	スポットクーラー、プロジェクター、スクリーン
さんあい	埼玉県深谷市	児童養護施設	ポータブルワイヤレスアンプ・マイクセット

◇公益事業

(1)社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業
当年度はなし。

(2)研修会・講演会・講座の開催、支援事業
当年度はなし。

(3)災害援護に関する事業
当年度はなし。

(4)保健医療相談支援事業
当年度はなし。

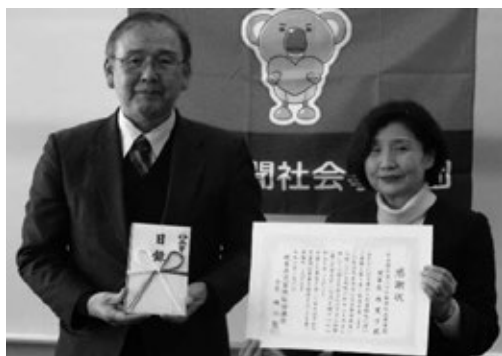
岐阜支部

本部や中日新聞岐阜支社と緊密に連携をとりながら、恒例の事業や団体などからの要望に応え支援を行い、地域に密着した事業を実施した。

◇社会福祉事業

児童養護施設等支援事業

・第7回中日ロボラぎふ就学(職)支援金贈呈式(2月6日)



県内の児童養護施設に入所している高校3年生34人に対し、大学や専門学校への進学及び就職など新生活に向けての準備を支援するため、それぞれ3万円を支給した。贈呈式では、岐阜県児童福祉協議会の横川会長が代表して目録を受け取った。

(横川会長㊟に目録贈呈、林理事長が感謝状受領)

- ・岐阜県児童福祉協議会所属の児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設の小学生から中学生までの子ども達と職員が各施設でチームをつくり、交流を目的に開催する「児童福祉協議会施設交流ソフトボール大会」を後援。
(8月6日)

◇公益事業

(1)保健医療相談支援事業

中日新聞岐阜県版の「社会事業団岐阜支部だより」(毎週掲載)で告知し、募集の支援を行った。

<主な相談内容>

- ・「薬物依存症医療電話相談」(毎月第2水曜日)を後援

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」と協力して、同症からの自立支援を目的に、薬物やアルコール依存症の患者及び家族に対して電話相談を行った。
(年間10回)

- ・「心の病電話相談」(毎週火、木、金曜日)を後援

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に向けて電話相談窓口を岐阜県精神

保健福祉会連合会が開設し、精神疾患の人やその家族への支援を行った。
(年間 146 回実施)

・「認知症介護者のつどい」を後援

認知症の人と家族の会岐阜県支部が主催し、認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を毎月県内各地で行った。

(2)研修会・講演会・講座の開催支援

a. 研修会

・岐阜県精神保健福祉会が精神障がい者の家族が抱える悩み、不安や 病気、症状などの理解を深めるための「家族学習会」を後援。

b. 講演会・講座

- ・岐阜県腎臓病協議会「慢性腎臓病対策講演会、市民公開講座」を後援
(9月8日)
- ・ぎふ難聴者協会「聞こえのサポートフェア」を後援(10月13日)
- ・「ぎふ要約筆記かがり火講習会」を後援(1月13日)

(3)社会福祉向上目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者スポーツ支援事業

- ・岐阜県特別支援学校・高等特別支援学校の生徒の陸上競技大会(9月21日)
駅伝競走大会(12月14日)を後援
- ・CPサッカー(脳性まひ等による7人制サッカー)全日本選手権大会を後援(10月5日～6日)
- ・全国身体障害者グラウンドゴルフ大会を後援(11月17日)
- ・東海地区盲学校ゴールボール大会を後援(12月14日)

b. 障がい者支援事業

- ・中部学院全国手話スピーチコンテストを共催(11月16日)



中学生から社会人までの参加者が「手話スピーチ部門」「手話パフォーマンス部門」で手話表現を競った。また、会場で観衆が選ぶ会場特別賞を贈呈した。

手話や聴覚障がいについての講演で2025年に東京で開催されるデフリンピックの周知を行った。

- ・「ふれあいアートステーション・ぎふ作品展」を後援



(8月20日～9月2日、11月12日～25日、1月15日～27日 の3回)

岐阜県身体障害者福祉協会が主催する「ふれあいアートステーション・ぎふ作品展」に参加した障がい者の作品から36作品を3回に分けて展示、その活動と作品を紹介した。

- ・岐阜ろう劇団いぶき「身体表現ワークショップ」(7月21日～8月31日)、
「岐阜市民芸術祭演劇の部公演」(11月30日～12月1日)を後援
- ・岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭を後援(10月6日)
- ・全国ナイスハートバザール2024を後援(11月21～25日)

c. その他

- ・笠松刑務所篤志面接委員協議会「笠松刑務所花苗寄贈事業」を後援
- ・ぎふ犯罪被害者支援センター「創立20周年記念式典・記念講演会」を後援(6月20日)
- ・更生保護法人岐阜県共助会「甘南美寺における情操教育及び社会貢献 活動」を後援(9月29日)
- ・岐阜少年友の会「芋堀り、日本児童育成園訪問」を後援(10月30日)
- ・年末助け合い運動(11月25日～12月27日)
岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部などの協力を得て、中日新聞紙面に寄託者を紹介し、年末助け合い運動を展開。寄付金は72件、総額で2,580,205円となった。

(4)災害援護に関する事業

当年度はなし。

中日青葉学園

(1)地域連携

◆ 食糧支援

「地域に貢献できる施設となる」という方針のもと、日進市社会福祉協議会と連携してサテライト「三つ葉」の管理棟でフードドライブとフードパントリーを実施。フードドライブは、日進市農業委員会から野菜の提供や、近隣住民から食料品の寄託を受けるなど、数多くの協力を得た。フードパントリーでは、公式 LINE を活用し食材の支援が必要な家庭に、毎月最終火曜日に配分した。

◆ 里親支援

里親世帯と里親を目指す家庭に対し、毎月最終水曜日に「三つ葉カフェ」と銘打って茶話会を開催。日ごろの苦労や喜びについて語り合い、互いの労をねぎらったり、里親登録までの不安を話し合い、助言を受ける場となった。

◆ 子育て相談、ボランティアの受け入れなど

学園の福祉、保育、心理の専門職を活用して、無料電話や対面の子育て相談、社会的養護相談に応じた。6月にボランティア活動日を設け、清掃や卓球、ソフトボールなど、地域の学生を中心に20人のボランティアと入所児童、職員が交流した。夏休みには、子どもと関わる高校生ボランティアをのべ187人受け入れた。

◆ 青葉まつり

例年同様10月最終土曜日に開催。地域住民、入所児童の同級生らを招き、児童、ボランティアによる模擬店などでにぎわった。日進市長と元中日ドラゴンズの宇野勝さんをゲストに迎え、地域住民約400人とボランティア約180人が参加した。

(2)児童の権利擁護に基づく養育方針

児童の権利に関する条約第3条「児童に関するすべての措置をとるに当たっては、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。」や児童福祉法の新しい理念である子どもの権利保障に基づき、下記項目を実践した。

◆ 要望等対応(苦情解決の取り組み)

苦情等意見箱には、28件の意見が寄せられた。意見については、月1回行われる児童の全体会で説明し、記名されている児童については、個別で対応した。また、新規入所児童には「権利ノート」と子どもの人権 SOS ミニレターを配布し、施設での権利侵害について、いつでも相談できることを担当職員から説明した。保護者からの意見については、子どもの意向や支援方針のすり合わせを行い、児童の福祉が保障されるように話合った。

◆ 被措置児童の人権保障について

子どもから、職員による人権侵害の恐れがあると訴えが寄せられたが、児童相談センターに報告し、該当職員と本人に事情の聴取をしたところ、被措置児童虐待にあたらなとされた。現状分析と課題の洗い出しを行い、施設全体として再発防止策の策定を行った。

◆ リスクマネジメント(ヒヤリハットと事故報告)

ヒヤリハット事案は41件。その都度、合同研修で注意を喚起した。

事故報告は28件(服薬ミス、職員の骨折、車両破損など)。事故原因の究明と対策をするとともに、児童や職員への指導も同時に行った。

(3)その他

◆ 健康

入院、児童相談所、保護者報告に至る疾病傷病等はなかった。5類に変更となった新型コロナウイルスには複数の児童、職員が感染したが、重篤な後遺症などはなく、全員が早期に回復している。

◆ アフターケア

アフターケアについては、18人の卒園生に対し、就労支援、生活支援、生活保護の申請補助、子育て相談等を行った。自殺をしようとした21歳女性の対応で複数職員が長期に渡って丁寧に関わった結果、就労活動できるまでになった。「中日青葉学園大学進学支援金」は、あおば館は継続3人、わかば館は継続1人の応募があり、応募者全員が奨学金を受け取った。リフォームで新たに設けた個室を卒園者に提供する社会的養護自立支援事業の取り組みを検討したが、当年度は実施しなかった。

◆ 愛知県指導監査・福祉サービス第三者評価

愛知県健康福祉部による指導監査が10月8日に実施されたが、文書による指摘事項はなかった。福祉サービス第三者評価は、自己評価を実施。提供できる支援がより良いものとなるよう、再確認した。

◆ 実習生の受け入れ

あおば館17人、わかば館16人の保育士を受け入れた。社会福祉実習ではあおば館10人、わかば館8人、心理実習ではあおば館6人、わかば館54人、介護体験ではあおば館12人、わかば館10人、看護実習では115人、里親実習では15家庭を受け入れた。

◆ 職員表彰

勤続表彰は20年3人、10年1人、5年3人。当年度の職員表彰は、あおば館では器楽部活動や地域支援に貢献した1人と、わかば館ではメンタル不調で休職する職員が多い中、新人ながら1年間頑張りを続けた1人を表彰した。

◆ 関係機関との協働

日進市、豊明市の要保護対策協議会の委員、名古屋市キャリア支援アドバイザー、社会福祉士、保育士、心理系学部など各関連機関・団体の委員や講師として参加。地域の子育て支援、地域福祉の向上、後進育成の一翼を担った。

中日青葉学園人員構成表

▽職員構成・職員数

令和7年3月1日現在

職 員	人 員	担 当 職 務
学園長	1	運営管理(法人理事・自立支援担当 兼務)
児童養護施設 あおば館		
館長	1	運営管理
指導課長	3	生活指導 (本園、分園、地域支援)
指導係長	1	生活指導
事務員	1	経理事務 (わかば館兼務)
主任指導員 保育士	1	生活指導
指導員 保育士	18	生活指導
主任心理士	1	心理治療、生活指導
調理員	3	給食実務
嘱託医	1	嘱託医務
非常勤	3	生活指導 (生活補助、里親支援)
小計	33	
児童心理治療施設 わかば館		
館長	1	運営管理
精神科医・小児科医	(3)	医療業務 (非常勤)
事務課長	1	経理事務統括 (あおば館兼務)
指導課長	1	生活指導 (支援統括)
心理課長	1	心理治療、生活指導
保育係長	1	生活指導
主任指導員 保育士	2	生活指導
指導員 保育士	8	生活指導、地域支援
主任心理士	1	心理治療、生活指導
心理士	2	心理治療、生活指導
看護師	1	看護実務
栄養士	1	栄養管理
調理員	3	給食実務
非常勤	1	生活指導 (生活補助)
小計	24 + (3)	
フォスタリングセンター		
指導療育部長	1	運営管理(里親リクルーター 兼務)
小計	1	
合計	65 + (3)	

▽児童数

令和7年3月1日現在

施 設		幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男 子	3	6	2	4	0	15
	女 子	1	4	8	6	0	19
わかば館	男 子		7	4	1	0	12
	女 子		4	5	2	0	11
計		4	21	19	13	0	57

児童養護施設あおば館

① 組織運営

【組織】

本園4ホーム、分園(三つ葉)2ホームの体制で運営。小規模グループケアをすすめるため、当年度、本園2ホームを改修し、ホーム全ての小規模化が完了。措置定員は、前年同様35人(本園24人、分園11人)とした。

家庭復帰児童は3人、自立した児童は2人、措置変更0人であった。幼稚園入園は1人、中学校入学は2人、高校入学は3人。措置延長をする児童はいなかった。

・児童入所状況(令和6年4月1日現在)

けやき	しらかば	ひのき	もみじ	ポプラ	さくら	合計
5人	5人	5人	6人	5人	6人	32人

※男子ホーム：けやき、ひのき、ポプラ 女子ホーム：しらかば、もみじ、さくら

・児童の入所実績

	けやき	しらかば	ひのき	もみじ	ポプラ	さくら
入 所	1人	1人	1人	0人	1人	0人
退 所	1人	0人	0人	1人	2人	0人

延べ入所者数は 11,876日人数

一時保護児童数：男子3人・女子1人で延べ626日人数

【会議】

運営方針、ホーム運営、児童のケアに関する内容で以下の通り会議を実施した。あおば館会議は4回。ビジョンの確認、あおば館の新たな運営コンセプトである「あおばコミュニティ」、「ホーム自治」について理解を深めるための場とした。役職者会議は3回で、あおば館運営状況のモニタリングを行った。ホーム長会議は73回で、ケアワークや運営における現場の意見や情報集約の場とした。ホーム長調整会議は現場の意見と運営をすり合わせる場とし、10回実施。ホーム会議は12回実施した。自立、家庭復帰を控える児童についての会議は必要に応じ5回実施した。

児童も参加するホーム会については、各ホームでばらつきがあるが、月1回ほど実施した。

【職員育成】

あおば館全ケアワーカーに対し、ケアプランの作成、「困った」という声を受け止める、施設ケア、被措置児童虐待防止、福祉サービスと子どもの最善の利益、行政理解（はぐみんプラン）、6回の研修を実施した。ビジョンに対する理解を深めることに重きを置き、ホーム運営や養育機能の確認と向上、社会的養護の現状・動向について学んだ。

性の問題を考える会は、3回の研修にケアワーカーのべ5人が参加した。

② 養育

ホーム運営は、あおばコミュニティと称したホーム自治で「自助」「互助」「共助」「公助」の仕組みを導入。質の高いサービスが提供できるよう努めた。共助においては自社資源（全体行事や部活動など）の活用、セーフティネットの仕組みを示し、ケアプランを軸に個々の児童の成長につながるよう努めた。

本園はケアニーズの高い児童、家庭復帰を目指す児童を配置。分園は家庭復帰を見込むことが叶わず、児童が帰属意識を実感できる「実家機能を備えた場所」となるよう配慮した。人権擁護を意識し、より家庭的で専門的な養育を提供できるように概ね6人のケア単位で生活支援を行った。日々のケアワークを充実させるために、戦略的ケアワークノートの記載を実施。日々のケアワークに目標を持たせ職務に就くよう努めた。本園は各ホーム概ね3人、分園は各ホーム5人の体制で職員を配置。役職職員はホーム勤務の補助に入り、スーパービジョンに努めた。学校教育については地域の小中高校や敷地内にある分校と連携をして、より専門的で質の高い支援を行った。

③ 自立支援・家庭復帰支援の方法

ケアプランに基づき、家庭復帰、自立を目指した戦略的な支援を展開した。児童の関わりにおいては社会福祉のエッセンス（寄り添い・伴走・ワンストップ・オーダーメイド・社会資源の開拓・社会資源につなぐ）を取り入れ、児童個々にあわせた支援、ルール作りを心がけた。ケアプランにおいては子どもの声を主軸に置いて養育支援プラン、家庭復帰プランを立案。各児童の家庭復帰や自立の状況をイメージし、児童の強みを伸ばす支援を心がけた。自立しかイメージできない児童にも家庭復帰プランを作成。実親の状況、なぜ措置されたのかについて情報提供し、生活上の課題をフィードバックした。また児童の特性や状況に合わせたオーダーメイドの支援を個別に展開した。養育支援プランについては児童の持つ力を伸ばすための支援と位置づけ、支援の質や内容についてホーム職員単位で共通理解を持って支援にあたり、モニタリング、評価を行った。家庭支援についてはケア担当職員とケース担当職員を分け家庭支援専門員がケース全体のマネジメントを行った。家庭復帰や自立の拠点となる地域において、社会資源の開拓と調整を見守り相談所と協働して行った。リービングケアの一環と

して各ホームの特色を生かし、アルバイト支援、アフターケア情報の提供など、退所後の支援につなげられるように工夫した。高校生交流会や中日青葉学園チャレンジキャンプ(自立支援のための宿泊イベント)にも可能な限り参加をさせた。

④ その他

(1)全ホーム小規模グループケアとしてのスタート

ケア単位の小規模化、より家庭的な養育実践のため昨年度より小舎制にホームを改修する工事を行った。玄関を設置し、風呂、リビング、児童居室を、子どもがより家庭的な暮らしができ、職員とコミュニケーションが取れるようにした。より家庭的な環境下で職員と子どものケアワークの充実につながった。

(2)心理対応

心理士が、個別心理療法、コンサルテーション、生活場面でのアセスメントや面談を行った。また、愛知学院大学など地域の大学と連携協定を結び、支援の幅を拡大した。心理対応としては、セラピーを実施した児童は3人であった。ホーム生活における心理対応等含め12ケースの児童心理的な関わりを実施した。

(3)個別対応と家庭支援

個別対応職員は、ケアニーズの高い特別な支援が必要な児童に寄り添った支援を実施。うち課題を抱えた2人には、登校支援、生活改善支援、非行行為改善支援を行った。また自傷行為を行う児童も1人。ホームと外部医療機関と連携を取りケアを行った。

家庭支援専門相談員は、家族再統合に向け児童相談所、地域行政等と協働した。児童の意見を保護者に伝え、親子関係調整のため家庭訪問を実施した。当年度1人が家庭復帰した。

(4)退所者支援

法人本部の「中日青葉学園大学進学支援金事業」を活用し、退所予定児童1名、大学や短大に進学した退所児童1人が進学支援金を取得。退園生については生活相談、通院支援、行政手続きや住居探し、ライフストーリーワーク、再就職支援など退所者支援は多岐にわたった。

(5)里親支援専門相談員、家庭体験

平成30年から配置している里親支援専門相談員は、専門性を生かして里親と児童の関係づくりを支援した。学園を会場にしたサロンを5回開催。里親家庭に延べ134回訪問した。養育相談をはじめ、レスパイトの調整も行い、里親に寄り添った支援を

行った。里親移行を考える児童のマッチングについては1件実施。引き続きマッチングを継続する。

(6)地域連携と協働

9月より地域支援課を開設した。三つ葉を拠点にPTA、自治会等への活動への参画を図った。地域への周知、児童が地域の中で生きている実感を持てるようにした。

地域との交流活動で、本園は「市場町側子ども会」、分園は「御岳子ども会」に加入しており、時宜に応じたイベントに参加した。愛知淑徳大学との連携協定に基づき、1人の児童が相談室に、椙山女学園大学臨床心理相談室に1人通うことができるようになった。

施設児童の家庭体験として、尾張旭市の1家庭が、家族との交流を提供。本園ホーム3ホームが家庭体験をした。

(7)福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では

- ▷社会福祉実習の受入
- ▷教員養成介護と受け入れ
- ▷福祉人材の育成への取組み
- ▷福祉避難所
- ▷児童虐待防止等に関する法律2条の定める被措置児童及び障害のある児童の受入
- ▷児童福祉法第33条に定める一時保護の実施
- ▷家庭復帰退所児童支援事業
- ▷家庭的養護の推進

の8項目で7ポイントを取得した。

児童心理治療施設わかば館

① 組織運営

【組織】

わかば館は、男女2ホームで定員35人の大舎制で運営。4月1日の在籍児童は、小学生から高校生まで計25人。職員は非常勤を含め27人の体制で子ども達の支援にあたった。「ソーシャルワークに基づいた支援」「よい環境・よい関わり・よい体験」をスローガンに掲げて臨んだ。入所児童への支援の質の向上のため、福祉、心理、教育（青葉分校）が連携し取り組んだ。日々の関わり以外にも部活動や行事を活用し、子どもの心身の成長を促した。

・児童入所状況（令和6年4月1日現在）

もえぎ・男子	あさぎ・女子	合 計
12 人（定員17人）	13 人（定員18人）	25 人（定員35人）

・子どもの入退所実績

	男子	女子	計
入所	5 人	3 人	8 人
退所	4 人	6 人	10 人

延べ入所者数は 8,792 日人数

一時保護児童数：男子 5 人・女子 1 人で、

延べ 263 日人数日

【会議】

以下のとおり児童支援ならびに運営について会議を実施した。

- (1)わかば館会議：月1回実施 (2)現場会議：月1回実施 (3)心理会議：月1回実施
(4)ケース会議：随時実施(31回)

【職員育成】

中日青葉学園として実施する合同研修以外に、わかば館では、自ら学ぶ姿勢を身に着けられるよう、若手職員による研究発表会を月1回実施。心理士が児童心理治療施設でより専門性が発揮できるよう、元児童心理治療施設協議会長で臨床心理士の細江逸雄氏によるスーパーバイズを隔週1回。また職員の専門性向上を目指し、外部研修 12 件に延べ25人が参加した。

当年度は、さまざまな理由により欠勤、病休となる職員が相次ぎ、勤務体制や児童支援が困難となった。学園長をはじめ管理職が勤務や業務を補填することで、児童

の生活や支援への影響を最小限になるよう努めた。ベテラン職員による若手職員への肯定的な声掛けを習慣化するなどの対策をすることで、職場の心理的安全性を確保するよう取り組みを続けている。

② 療育

入所児童全員のケアプランを作成し、個々の児童の支援についての計画性を担保するため、全てのケースにおいて、ケアプラン作成時に施設長、課長のいずれかによるスーパーバイズを実施。対象児童のストレングスを生かしたプランの作成を行った。

入所する児童の多くが発達障害であることから、短期目標が見える化し、児童の居室に掲示。毎日、消灯時などに達成度などについて確認を行った。

年度当初に掲げた基本方針である（１）日課に基づいた生活支援を行い基本的な生活習慣の習得を目指す（２）心理療法担当職員による個別のセラピーを実施する（３）小中学生は敷地内の分校に通い、能力や特性にあわせた教育を保障する（４）園内の行事や部活動、余暇活動をグループワークとして活用。それぞれの子どもの発達、自己肯定感の向上、自己実現や自立支援など、健やかな成長につなげる（５）園外活動を通じ、子どもの社会性が深まる体験活動を企画する（６）必要に応じて、医療機関と連携し、より専門性の高い療育を提供する（７）すべての専門職が権利擁護を意識し、子どもの最善の利益を目指す（８）専門職については、それぞれの役割を明確にし、連携することにより質の高い療育を提供する の８項目については、おおむね達成されている。（９）令和６年度からは、訪問服薬管理指導の制度を活用し近隣の調剤薬局の薬剤師による薬歴管理、服薬指導、服薬支援、薬剤の服薬状況・保管状況及び残薬の有無の確認などを導入。向精神薬等を服薬する児童の服薬支援を実施した。

一方、男子児童２人が複数の女子児童の身体に触るなどの性問題が発覚。児童相談センターの協力をうけながら被害児童の聞き取りやメンタルヘルス、加害児童の分離などの対処をした。また、職員の死角を減らすための扉の設置や夜間に児童の生活について改めて確認。すべての児童の安心安全が守られるよう、生活ルールの確認や職員の対応について共通認識が図られるよう情報共有をおこなった。

③ 自立支援

児童心理治療施設としての支援を完了した児童１０人が、家庭復帰を果たした。それぞれの児童の通う学校や放課後デイサービスなどに情報提供を行い、地域生活の

支援ネットワークを構築した。

大学生、社会人、グループホームで地域生活を送る退所児童に対しても、必要に応じ定期連絡や訪問、家族療法室を利用した実家機能、医療機関への受診支援などを実施。学生生活、就労、地域生活が維持され、さらにより良い生活を送れるようよう支援を実施した。また、退職や人間関係の不和などで、生計の維持が困難となった退所者に対して危機介入し、通院の付き添い、生活保護の取得や就労支援、定期面談などを実施し、安定的な生活が送れるよう支援した。

④ その他

(1)性の問題を考える会

東海エリアの児童福祉施設や医療機関の職員、医師などで作る「性の問題について考える会」の事務局を、わかば館の心理療法担当職員が中心に担った。性教育、性化行動の対応などについて最新の情報と専門知識を学ぶため、当年度は3回を実施した。

(2)性教育

性教育を専門に取り組む看護師を迎え、中学生男女と退所を控えた児童を中心に12回(参加児童はのべ42人)実施した。

生活の中での性教育の在り方を考え、日々の支援に生かした。また、学校との情報交換も行った。

(3)心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けて入所する子どもが増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職が、わかば館1階の治療棟で1回45分程度の個別のセラピーを行った。子どもと心理士の関係性を基盤に日常生活の生きづらさに折り合いがつけられるよう心理士の知見を基にアプローチした。また、指導員、保育士と子どもの見立てについて協働し、生活全体が治療的環境になるように整えた。

また、非常勤の精神科医には子どもとの面談、カンファレンスへの出席、生活場面での観察など、多様な側面から子どもとの関わり持ってもらい、子どもの状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(4)家庭支援

子ども1人1人の特性に合った治療・支援が行えるように、子ども1人に対し生活担

当、心理担当、家族支援担当の職員を配置し、三者が共同してケアプランを作成。よりきめ細かい支援を行った。また、本人、家族、児相、分校教員、学園担当者等が集い家族会議を実施。本人の現状、課題等について本人を含む参加者全員で共有し、本人、家族ともに課題を設定するなどして家庭復帰後の地域生活が円滑に送れるよう支援を行った。

(5) 児童支援

入所児童の多くが心療科に定期的に通院しており、医療機関との連携強化に努め、個々のケースに合わせてより専門的な視点で治療が行えるようにしている。

児童相談センターとも連携し、保護者への子育て支援プログラムの実施や、家庭復帰を目指して地元校や各関係機関や支援者との関係者会議等も積極的に行い、家庭復帰や児童養護施設等への措置変更に役立てた。

日々の取り組みでは、男女それぞれのホームで毎日その日を振り返る「もえぎ会議」「ガールズミーティング」を継続して実施。子ども達の意見を言える場を設けている。

(6) 学習

近隣大学の学生による家庭教師、分校 OB 教員の学習支援などを実施。入所児童個々の状況に合わせた学習機会を提供した。

(7) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉ポイント加算では

- ▷社会福祉実習の受入
- ▷福祉人材育成の取組
- ▷教員養成介護等体験
- ▷福祉避難所
- ▷一時保護委託の実施
- ▷被虐待児の受け入れ
- ▷治療の推進と家庭復帰の支援
- ▷保護者指導事業

の8項目で7ポイントを取得した。

中日青葉学園 主な行事

開催日		行事名
4月	4日	北小学校、高校入学式
	5日	日進中学校入学式
	9日	ラーメン訪問
	29日	つつじの会
5月	3～6日	ゴールデンウィーク外出・お楽しみ会
6月	18日	日本大相撲協会によるちゃんこ訪問
7月	22,30日	わかば館 目的別活動（篠島海水浴・滋賀散策）
	22,25日	あおば館 目的別活動（篠島海水浴・犬山散策）
8月	1,2日	両館合同 自立支援活動（常神半島 素潜り体験、釣り体験）
	21日	施設長会 卓球大会
9月	16日	施設長会 ソフトボール大会
10月	5日	愛知韓国青年商工会による焼肉訪問
	26日	青葉まつり
11月	2日	グリーンハイツ(地元自治会)との合同防災訓練
	17日	施設長会 音楽の集い
	26日	フレバールケーキ教室
12月	10日	中部善意銀行サンタ訪問
	14日	フラワーアレンジメント協会 クリスマスリース教室
	7,14日	中日森友隊活動（環境整備ボランティア）
	22日	ハーレーサンタ訪問
	23日	両館合同クリスマス会
	25日	施設長会 フットサル大会
	30日	餅つき
1月	18,19日	施設長会 スキー村
2月	2日	施設長会 親善マラソン
3月	15日	巣立ちの会 送別パーティー

主な行事の写真



ラーメン訪問
(4月9日)



つつじの会
(4月29日)



ゴールデンウィークお楽しみ会
(5月6日)



ちゃんこ訪問
(6月18日)



篠島 海水浴
(7月25日)



愛知韓国青年商工会 韓国焼肉訪問
(10月5日)



青葉まつり
(10月26日)



グリーンハイツ合同防災訓練
(11月2日)



フレベールケーキ作り教室
(11月26日)



クリスマスリース教室
(12月14日)



ハーレーサンタ訪問
(12月22日)



巣立ちの会
(3月15日)

子育て短期支援事業

中日青葉学園あおば館では、日進市、東郷町、豊明市、長久手市と提携し、提携市在住の保護者が疾病等の理由により、一時的に児童の養育が困難になった際に該当児童を養育が再開できるまでの間、保護者の代わりに保護、養育を行う「子育て短期支援事業」を実施している。

当年度の実績は、以下のとおり。

【長久手市】 人数 1 人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	2 日	2 日	2 日	4 日	4 日	0

【豊明市】 人数 1 人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 日	0 日	0 日	7 日	0 日	0 日	0 日	0 日	0 日	0 日	0 日	0 日

地域における公益的な取り組み

中日青葉学園内にフリーダイヤルを設置し、社会福祉士、保育士、心理士などによる地域住民からの子育て相談を実施。

当年度の利用実績は下表のとおり。

【新規相談件数】 総数3件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0

【継続相談件数】 1件

【主な相談内容】 ※重複あり

子育て一般	発達相談	不登校	虐待	いじめ	その他
0	0	1	3	0	1

フードパントリー

中日青葉学園では、令和5年11月から地域の子育て世帯を支援していくため、毎月10世帯程度食品の配布を実施した。

当年度の利用実績は下表のとおり。

【利用世帯件数】 総数 157 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	12	12	13	13	12	10	12	18	15	13	15

里親フォスタリング事業

令和2年度から里親を増やす啓発活動などを行う「里親制度重点エリア啓発及び里親研修事業」を愛知県から受託し、中日青葉学園内に事務局として「フォスタリングセンター」を設けてさまざまな事業を行っている。重点エリアは年度ごとに代わり、当年度は日進市、一宮市、尾張旭市で啓発活動を実施。市内の店舗や行政機関と連携を図り、普及啓発に努めた。3市町で計20回、休日に養育里親体験発表会を開催。里親をしている方に実体験を披露してもらうと共に、グループに分かれて質疑応答する機会を設けて移行支援につなげ、登録を目指す家庭を増やす活動に取り組んだ。

【啓発事業】

スーパー等	集いの場等	パネル展示など
8回	8回	4回

【SNS等の発信】Instagram、Facebook

投 稿	フォロワー数
72 件	620件

【養育里親体験発表会】※重複あり

実施回数	参加者
8回	延べ83人

【集いの場】※重複あり

実施回数	参加者
12回	延べ 335 人

【研修事業】基礎研修、登録前研修、登録前演習、更新研修

実施回数	参加者
7 回	延べ58人

【世帯別の結果】

問い合わせ家庭	登録
11世帯	11世帯

事業報告 付属明細

〈事業件数〉

当年度の本部、各支部の事業件数は次の通り。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など幅広い社会貢献に取り組んだ。

	主 催	共 催	後 援	合 計
本 部	4	13	93	110
北陸支部	4	0	1	5
東海支部	12	0	7	19
東京支部	2	0	0	2
岐阜支部	2	1	25	28
合 計	24	14	126	164

〈寄付金〉

当年度の本部、各支部、青葉学園の寄付金受領件数及び金額は次の通り

	本 部		北陸支部		東海支部		東京支部	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一般寄付	401	59,872,379	29	1,223,455	19	762,276	11	247,100
年末助け合い	271	20,161,298	15	608,339	49	2,890,396	46	990,985
指定寄付	18	7,440,614	0	0	0	0	0	0
合 計	690	87,474,291	44	1,831,794	68	3,652,672	57	1,238,085

	岐阜支部		青葉学園		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一般寄付	48	2,393,957	144	6,408,380	652	70,907,547
年末助け合い	72	2,580,205	0	0	453	27,231,223
指定寄付	0	0	0	0	18	7,440,614
合 計	120	4,974,162	144	6,408,380	1,123	105,579,384

(金額単位:円)

〈災害義援金〉

当年度はなし。

〈事業一覧〉

当年度の本部、各支部の事業一覧は次の通り

事業一覧 （本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
4/1～3/31	愛知県精神保健福祉の増進に関するネットワークづくり実施事業	後援	愛知県精神障害者家族会連合会	県白壁庁舎5階会議室ほか
4/13～5/19	令和6年度 愛知県障害者スポーツ大会	後援	愛知県、愛知県社会福祉協議会	名古屋グランドボウルほか
4/14～21	第44回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	北名古屋市健康ドーム
4/17～11/21	第21回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市、名古屋市身体障害者福祉連合会、名古屋手をつなぐ育成会、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会、名古屋市精神障害者家族会連合会、名古屋市特別支援教育研究協議会、名古屋市社会福祉協議会、名古屋市総合リハビリテーション事業団	小幡緑地公園ほか
4/20～2/15	名古屋手をつなぐ育成会 青年教室	後援	名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/21	第9回チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園周回コース
4/23～29	陶工房鳴海 陶展・チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海	陶工房鳴海
4/28	第12回ジョギングフェスティバル	後援	スペシャルオリンピックス日本・愛知	パロマ瑞穂スポーツパーク内レクリエーション広場
5/6	第73回 児童園遊会	共催	名古屋市、名古屋市社会福祉協議会 共催：中日新聞社会事業団	東山動植物園
5/26	全国膠原病友の会愛知県支部 総会・交流会	後援	全国膠原病友の会 愛知県支部	名古屋市社会福祉会館
6/1	公益社団法人 日本リウマチ友の会 愛知県支部 第61回大会	後援	日本リウマチ友の会 愛知支部	ウインクあいち
6/2	第60回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	朝熊山、おかげ横丁
6/4	東海地区特別支援教育振興資金贈呈	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社
6/7～1/27	令和6年度面接相談事業	後援	愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/8	2024年度 里親家庭交流ボウリング大会	後援	名古屋市里親会こどもピース	コロナキャットボウル中川店
6/27～28	令和6年度中部ブロック児童養護施設・乳児院研究協議会「愛知大会」	後援	中部児童養護施設協議会、東海北陸ブロック乳児院協議会、愛知県社会福祉協議会	ウインクあいち
6/29	第60回重度在宅児・者研修旅行	後援	名古屋手をつなぐ育成会	伊賀の里モクモク手づくりファーム
7/7	第40回愛知県聴覚障害者大会	後援	愛知県聴覚障害者協会	愛三文化会館
7/7	令和6年度 療育事業	後援	愛知県手をつなぐ育成会	日本平動物園・清水エスパルスドリームプラザ
7/13	東海地区盲学校第25回フロアバレーボール大会	後援	中日新聞三重総局、中日新聞社会事業団、県教育委員会(愛知・岐阜・三重・静岡)、三重県障がい者スポーツ協会	AGF鈴鹿体育館
7/20～9/13	令和6年度 夏期高校生ボランティア活動/体験文募集	後援	中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/22～31	第67回 福祉施設「海の家」	共催	名古屋市、名古屋市社会的養育施設協議会 共催：中日新聞社会事業団	篠島海水浴場

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
7/27～28	第42回昭和区の福祉まつり	後援	第42回昭和区の福祉まつり実行委員会 共催：名古屋市昭和区役所、名古屋市昭和区社会福祉協議会	昭和区役所
8/2	アートセラピーを学ぼう。講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会、日本描画テスト・描画療法学会	イーブルなごや
8/9～13	第49回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ（AMIGOキャンプin四日市）	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/10～2/9	福祉に関するレクリエーション講習会・研修会・セミナー	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県教育会館
8/16	C5忍者ランド&運動あそびフェスタ	後援	アイディアC体創協会	愛・地球博記念公園 地球市民交流センター体育館
8/17	NPO法人子どもセンター「パオ」18周年記念イベント	後援	子どもセンター「パオ」 共催：名古屋東山ロータリークラブ	ミッドランドスクエアシネマ2スクリーン9
8/17～18	令和6年度親子サマーキャンプ	後援	東海交通遺児を励ます会	国民宿舎恵那山荘
8/17～11/17	第50回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	刈谷市北部生涯学習センターほか
8/21	令和6年度 愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	共催	愛知県児童福祉施設長会 共催：中日新聞社会事業団	日進市スポーツセンター
8/24～25	2024愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA(第70回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県、愛知県社会福祉協議会、愛知県車いすテニス協会	諸の木テニス倶楽部
8/24～26	第5回名古屋コインショー	後援	日本貨幣商協同組合	ウィンクあいち8階展示場
6/28～3/31	名古屋少年友の会更生保護行事	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院・瀬戸少年院・立正園ほか
9/5～6	南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	山代温泉 ゆのくに天祥
9/8	令和6年度 愛盲連文芸大会	後援	愛知県盲人福祉連合会	明生会館
9/9～20	難病者激励金贈呈	主催	中日新聞社会事業団	中日新聞社
9/9～11/30	青少年の自立支援事業「スマイルサポートプログラム2024」	後援	愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
9/10～12/10	第72回 手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内
9/12～3/16	令和6年度 あいちアール・ブリュット展	後援	愛知県	市民ギャラリー矢田ほか
9/14	第9回 パールオープン交流卓球大会	後援	西尾市卓球協会 主管：西尾パール卓球クラブ	西尾市中央体育館
9/14～9/15	第56回愛知県身体障害者作品展	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合会、瀬戸市身体障害者福祉協会	瀬戸市やすらぎ会館
9/16	NPO法人愛知県難病団体連合会第51回大会	後援	愛知県難病団体連合会	東別院会館ホール
9/16	令和6年度 愛知県児童福祉施設入所児童ソフトボール大会	共催	愛知県児童福祉施設長会 共催：中日新聞社会事業団	幸田町とぼね運動場
9/21	親子なかよしキャンプ デイキャンプ	後援	愛知県自閉症協会・つぼみの会	朝明ロッジ
10/6	第29回長良川ふれあいマラソン大会	後援	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曽三川公園特設会場
10/11～15	第76回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会、愛知県社会福祉協議会、市区町村共同募金委員会、市区町村社会福祉協議会	NHK名古屋放送センタービル1階プラザウェーブ21
10/13	特定非営利活動法人響愛学園14周年記念コンサート	後援	響愛学園	一宮市民会館
10/13	第50回 名視協文化祭	後援	名古屋市視覚障害者協会	名身連福祉センター4階ホール

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
10/16～11/23	第80回ボランティアスクール	後援	あさみどりの会	さわらび園、べにしだの家
10/27	第21回車いすテニス岩倉大会(ニューミックステニス)	後援	岩倉市テニス協会、愛知県車いすテニス協会	岩倉市野寄テニスコート
10/28～11/3	令和6年度 作品展「てをつなぐ」	後援	愛知県手をつなぐ育成会	瀧上工業雁宿ホール
10/31～1/27	第38回ふれあいフォトコンクール	後援	愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会 愛知県社会福祉会館
11/2～4	第25回 全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟 共催：日本視覚障害者団体連合スポーツ協議会 主管：愛知県盲人福祉連合会、愛知県グランドソフトボール協会	道徳公園野球場、道徳小学校、大江中学校
11/3 ※雨天中止	第48回 2024愛のフェスティバル	後援	社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会 福祉会館・北側駐車場・南側ひろば
11/10	第62回愛知県子ども会大会	後援	愛知県、愛知県子ども会連絡協議会、愛知県社会福祉協議会、中日新聞社	名古屋市公会堂 大ホール
11/10	第23回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会 共催：中日新聞社会事業団	ドルフィンズアリーナ
11/10	令和6年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	三重県母子寡婦福祉連合会	農業屋コミュニティセンター文化センター
11/10	第67回 東海車いすツインバスケットボール定期大会 富山砺波大会	後援	東海車いすツインバスケットボール連盟 主管：富山SuperGuts	富山県西部体育センター 大アリーナ・中アリーナ
11/11	令和6年度岐阜県母子寡婦福祉研修大会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
11/13	第57回愛知県視覚障害者福祉大会(岡崎大会)	後援	愛知県盲人福祉連合会	岡崎市せきれいホール
11/15	第17回 健康づくりウォーキング大会	後援	名古屋市老人クラブ連合会	東山植物園
11/16	第34回 名古屋市精神障害者家族交流事業「晴れときどき虹」	後援	名古屋市精神障害者家族会連合会、名古屋市	名古屋市中小企業振興会館
11/17	第46回 音楽の集い「常滑大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会 共催：中日新聞社会事業団	常滑市民文化会館
11/17	第22回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場・補助競技場
11/20～24	第16回 ふれあいアート展	後援	愛知県知的障害児者生活サポート協会	名古屋電気文化会館 東ギャラリー
11/24	第21回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
11/25～12/27	令和6年度年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団	本部、愛知・三重県内の総支局など
11/30	あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会	後援	あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会 共催：愛知県、名古屋市、名古屋市総合リハビリテーション事業団、高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」	中区役所ホール
11/30～12/1	第33回 AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、AICHI高校生交流会実行委員会 共催：中日新聞社会事業団、愛知県社会福祉協議会	旅館かねもと
11/30～12/8	令和6年度小牧市障がい者作品展 こまきアール・ブリュット展	後援	小牧市	小牧市まなび創造館 市民ギャラリー
12/6～8	尾西作家協会チャリティー展	後援	尾西作家協会、一宮市芸術文化協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/7	第42回 愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児(者)福祉団体連絡協議会 共催：愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉会館5F 第一研修室

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
12/8	第6回名美歳末チャリティー茶会	後援	名古屋美術商協同組合 共催：名古屋美術倶楽部	名古屋美術倶楽部
12/8	第63回愛知県身体障害者福祉大会	後援	愛知県身体障害者福祉団体連合会、田原市身体障害者福祉協会	田原文化会館
12/15	第69回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	名古屋市身体障害者福祉連合会、名古屋市	中区役所ホール
12/15	少年少女合唱団 地球組コンサート2024『ジブリな未来の夢を見た』	後援	少年少女合唱団 地球組	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
12/21	日本特殊陶業株式会社がお贈りする第12回ファミリーミュージカル「ピーターパン」	後援	日本特殊陶業株式会社	日本特殊陶業市民会館フォレストホール
12/21	BERITA presents ISOGAI花火劇場in名古屋港 ～次世代を担う子供たちに美しい花火を～	後援	ISOGAI花火劇場	名古屋港ガーデンふ頭
12/21	2024中日青葉学園招待スケート教室	主催	中日新聞社会事業団 共催：名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/22	令和6年度愛知県母子寡婦福祉大会	後援	愛知県母子寡婦福祉連合会	名東文化小劇場
12/22	第57回 交通遺児を励ます大会	後援	東海交通遺児を励ます会	サイブレイスガーデンホテル
12/25	令和6年度 第15回 愛知県児童福祉施設フットサル大会	共催	愛知県児童福祉施設長会 共催：中日新聞社会事業団	日進市スポーツセンター
12/28	NPO法人幸せつむぎ主催 第4回特別講演会「障がいのある方と きょうだいの心の育ち」	後援	幸せつむぎ	豊明市文化会館
12/28	ブラインドラグビー(ぶららぐ)体験イベント	後援	名古屋芸術大学教育学部	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場芝生公園
1/8	令和6年度地域共生社会推進セミナー	後援	愛知県社会福祉協議会	アイリス愛知
1/12	里親家庭交流 もちつき会	後援	名古屋市里親会こどもピース	天理教美張文教会内
1/13	第27回 あした天気にな～れ ～誰もが安心して暮らせる街づくり～	後援	愛知県精神保健福祉士協会 共催：名古屋市、愛知県精神科病院協会、愛知県精神科医会、愛知県精神障害者家族会連合会、名古屋市精神障害者家族会連合会	名古屋国際会議場 141・142会議室（会場とオンライン同時開催）
1/18～19	令和6年度 第22回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会 共催：中日新聞社会事業団	あいや旅館(宿泊所)、伊那スキーリゾート
1/21～3/16	つむぎの展「輝々」	後援	幸せつむぎ	愛知芸術文化センター、松本市美術館
1/23	第72回愛知県社会福祉大会	後援	愛知県、名古屋市、愛知県共同募金会、愛知県社会福祉協議会	ドルフィンズアリーナ
1/29～2/2	第59回名古屋市障害者作品展示会	後援	名古屋市、名古屋市身体障害者福祉連合会	市民ギャラリー矢田 第1～7展示室
2/1	令和6年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団、中日新聞社、中日新聞社会事業団	JPタワー名古屋
2/1	NHKハートフォーラム 名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋 講演会「実は身近な発達障害」	後援	名古屋市発達障害者支援センター、NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団	ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)大ホール
2/4～9	第62回 特別支援教育展「きらめき展」	後援	名古屋市教育委員会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市特別支援教育研究協議会 共催：中日新聞社会事業	名古屋市民ギャラリー栄
2/4～9	みんなのアート展あいち	後援	愛知県知的障害者福祉協会	豊川市桜ヶ丘ミュージアム

事業一覧（本部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
2/4～3/13	第43回 障害者作品即売会「福祉の店」	後援	愛知県、名古屋市、愛知県セルフセンター、愛知県知的障害者福祉協会、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会、愛知県身体障害者福祉団体連合会、名古屋市身体障害者福祉連合会	イオンモールナゴヤドーム前ほか
2/8	東海カンファ2025(第12回東海特別支援教育カンファレンス)	後援	東海特別支援教育カンファレンス実行委員会、なんとカンファレンス実行委員会	三重県立くわな特別支援学校
2/9	令和6年度 第39回愛知県児童福祉施設親善マラソン大会	共催	愛知県児童福祉施設長会 共催：中日新聞社会事業団	サンテパークたはら(田原市芦ヶ池農業公園)
2/22～24	第48回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	ウイंकあいち7階展示場
2/25	第13回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム	共催	愛知県社会福祉協議会、中日新聞社、中日新聞社会事業団	名古屋国際センター 別棟ホール
3/2	第43回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	愛知県聴覚障害者協会、愛知県社会福祉協議会 主管：刈谷市ろう者協会	刈谷市総合文化センター
3/4	RDD(Rare Disease Day) 2025 in あいち	後援	愛知県難病団体連合会	ナディアパーク2Fアトリウム
3/16	第53回 中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/20	第20回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名古屋市天白スポーツセンター
3/22～27	第39回愛知動作法療育キャンプ	後援	第39回愛知動作法療育キャンプ実行委員会	坂井温泉 湯本館
3/23	第31回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP2025	後援	愛知県フロアバレーボール協会	ドルフィンズアリーナ 愛知県体育館
3/24	親子サッカー教室	後援	名古屋市里親会こどもピース	みなとアクルスUBフットサル場

事業一覧（北陸支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
7/1～31	乳児院に図書カードを贈呈	主催	中日新聞社会事業団北陸支部	石川県、富山県内の乳児院
4/26～5/26	児童養護施設入所児童を北陸中日新聞主催 展覧会「金魚美抄展」に招待	主催	中日新聞社会事業団北陸支部	金沢21世紀美術館
11/16	第43回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団北陸支部	石川・富山県の障がい者就労施設（贈呈は2月）

事業一覧（東海支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
4月～3月	児童養護施設すみれ寮入所者の誕生日プレゼント 補助金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	児童養護施設すみれ寮（浜松市）
5月	静岡県ボランティア協会 年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
7/10	第40回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	スズキビジネスチャリティ ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部 浜松コース（浜松市）
8/1～8/31	浜松市内ひとり親世帯の小・中・高生へ学業奨励（新聞購読）事業	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市内
8/22	静岡県児童福祉施設夏季スポーツ交流会へ参加賞 購入費の一部を助成	後援	静岡県児童養護施設協議会	狐ヶ崎ヤングランドボウル （静岡市）
10/17	第41回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松（浜松市）
11/16,17	第43回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞東海本社 中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店イ・コ・イ スクエア6階 ギャラリー・ロゼ（浜松市）
11/15	第37回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 （特非）静岡作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 （静岡市）
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか 静岡県内
12/11	第41回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	スズキビジネスチャリティ ゴルフ大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部 浜松コース（浜松市）
12/12	静岡県西部地区児童養護施設出身大学生らに 年末生活支援一時金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区児童養護施設
12/13	静岡県西部地区生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
1/13	ドラゴンズ・井上新監督トークショー	後援	中日新聞東海本社	グランドホテル浜松
1/13	ドラゴンズ・井上新監督トークショー チャリティーオークション	主催	中日新聞社会事業団東海支部	グランドホテル浜松
2/7	静岡県西部地区児童養護施設入所の小学校新入学 児童にランドセル贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区児童養護施設
2/23	第46回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会ほか	菊川文化会館アエル （菊川市）
2/17	静岡県西部地区生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
3/19	社会福祉事業資金造成 第41回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞東海本社 中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ （磐田市）
3/28	静岡県西部地区児童養護施設入所の中学校卒業生へお祝い金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区児童養護施設

事業一覧（東京支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
6～3月	社会福祉施設への助成	主催	中日新聞社会事業団東京支部	関東各都県の社会福祉施設
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	東京新聞、中日新聞社会事業団東京支部	東京支部

事業一覧（岐阜支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
毎日	チャイルドラインぎふヘルプライン	後援	チャイルドラインぎふ	チャイルドラインぎふ事務所
毎月	認知症介護者のつどい	後援	認知症の人と家族の会岐阜県支部	岐阜中日ビル など 県内各地13会場
毎週 火木金	精神障がい者家族に対する相談 (年間144回開催)	後援	岐阜県精神保健福祉会連合会	岐阜県精神保健福祉会連合会事務所
毎月 第2水曜	薬物依存症医療電話相談(年間10回開催)	後援	岐阜ダルク	岐阜ダルク事務所
5/1～3/31	笠松刑務所花苗寄贈	後援	笠松刑務所篤志面接委員協議会	笠松刑務所
6/9.23.7/7 7/15.28 11/17・23・ 12/1・15・22	精神保健福祉会連合会家族学習会	後援	岐阜県精神保健福祉会連合会	岐阜市南部コミュニティセンター 関市わかきプラザ
5/11～12	全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール地区予選兼日祝連東海ブロック岐阜大会	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	岐阜市立中央中グラウンド
6/20	創立20周年記念式典・講演会	後援	ぎふ犯罪被害者支援センター	都ホテル岐阜長良川
7/21 7/28 8/12	身体表現ワークショップ	後援	岐阜ろう劇団いぶき	アイブラザー宮 美濃市健康文化センター 岐阜市本荘公民館
8/6	児童福祉協議会施設交流ソフトボール大会	後援	岐阜県児童福祉協議会	高山市丹生川運動公園
8/20～9/2 11/12～25 1/15～27	ふれあいアートステーションぎふ作品展	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房
9/8	慢性腎臓病対策講演会	後援	岐阜県腎臓病協議会	OKBふれあい会館
9/21	岐阜県特別支援学校体育連盟チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	長良川陸上競技場
9/29	甘南美寺における情操教育、社会貢献活動	後援	岐阜山県保護区保護司会中分区	臨済宗妙心寺派甘南美寺
10/5～6	CPサッカーフェスティバル2024	後援	日本CPサッカー協会	長良川球技メドウ
10/6	岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	ぎふメディアコスモス
10/13	聞こえのサポートフェア	後援	ぎふ難聴者協会	岐阜市文化センター
10/30	芋堀り、日本児童育成園訪問	後援	岐阜少年友の会	美濃市生櫛、日本児童育成園
11/16	中部学院全国手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、同短期大学部	中部学院大学各務原キャンパス
11/17	全国身体障害者グラウンドゴルフ岐阜大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会	長良川競技場
11/21～25	全国ナイスハートバザール2024	後援	岐阜県社会福祉協議会など	カラフルタウン岐阜
11/25～12/27	年末助け合い運動	主催	中日新聞社、中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社など
11/30～12/1	岐阜市民芸術祭演劇の部 公演	後援	岐阜ろう劇団いぶき	喫茶星時
12/14	岐阜県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	岐阜県百年公園
12/14	東海地区盲学校ゴールボール大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	岐阜県福祉友愛アリーナ、岐阜希望が丘特別支援学校

事業一覧（岐阜支部）				
開催日	事業	連携	主催者	会場
1/13	ぎふ要約筆記かがり火講習会	後援	ぎふ要約筆記かがり火	岐阜市民福祉活動センター
2/6	中日ロボラぎふ就学(職)支援金 贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社
3/22	岐阜ダルク20周年フォーラム	後援	岐阜ダルク	ぎふ清流文化プラザ

〈高額寄付一覧〉

当年度の本部、各支部、青葉学園へ的高額寄付は次の通り

高額寄付(一般)

(令和6年4月～令和7年3月)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
日本特殊陶業	名古屋市	ドミユニオン	岡崎市
ネットヨタ中部	名古屋市	おおやま歯科医院	名古屋市
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	第一生命労働組合中京総合支部	名古屋市
成田山索の会	犬山市	愛知県柔道整復師会	名古屋市
トヨタカローラ愛知	名古屋市	名古屋競馬	名古屋市
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	NTP名古屋トヨペット	名古屋市
陶工房鳴海	名古屋市	愛知県遊技業協同組合	名古屋市
日本ダンス議会中部総局	名古屋市	トヨタ紡織課長会	刈谷市
中央電気工事	名古屋市	トヨタ紡織飛躍の会	刈谷市
愛知県タクシー協会	名古屋市	五月会	名古屋市
美浜インビテーショナルレジェンズ岡 本綾子カップ	美浜町	稲沢市職員互助会	稲沢市
		東海マツダ販売労働組合	名古屋市
総健歌謡クラブ	小牧市	知多信用金庫	半田市
ニューフィールド	名古屋市	トリックス	津市
真城	名古屋市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村
松本三良記念福祉会	東海市	東レ岡崎工場	岡崎市
桜木不動産コンサルタント	名古屋市	兼松エレクトロニクス	名古屋市
石原住宅	名古屋市	中日総合サービス従業員一同	名古屋市
協栄興業	東海市	中日ドラゴンズ	名古屋市
協栄会・協友会	東海市	大矢相互不動産	稲沢市
東郷産業	名古屋市	加藤 好章	刈谷市
JAあいち知多	常滑市	佐藤 不二夫	稲沢市
半田信用金庫	半田市	荒川 光夫	名古屋市
萩原電気ホールディングス	名古屋市	伴野 多津子	名古屋市
中部日本書道会	名古屋市	近藤 要	名古屋市
全国野球振興会	東京都	明星 千枝子	犬山市
東京センチュリー	東京都		

北 陸 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
石川近鉄タクシー・同労働組合	金沢市	齋藤 恵美	能美市
こばと保育園・こばと第2こども園	小松市	石川交通株式会社	金沢市
沖縄石川県人会	那覇市		

東 海 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
アベル株式会社	浜松市	浜松倉庫株式会社	浜松市
小松商店連盟	浜松市	浜松ロータリークラブ	浜松市
浜松佛教会	浜松市	竜ヶ岩洞	浜松市
第43回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市	大村 不二郎	袋井市
本田技研 鉄の会	浜松市	ドラゴンズ井上新監督トークショー チャリティーオークション	浜松市
株式会社ミダックホールディングス	浜松市		

東 京 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
「小さな親切」運動 ちばぎん支部	千葉市	ちば興銀ともしびの会	千葉市

岐 阜 支 部(10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	水都タクシー労働組合	大垣市
工房MASA	岐阜市	神谷そらプロ激励チャリティコンペ	瑞浪市
岐阜信用金庫	岐阜市	中部日本書道会濃飛支部	恵那市
岐阜県指定自動車教習所協会	岐阜市	イシデンエンジニアリング	恵那市
岐阜ゾンタクラブ	各務原市	石原電機工業	中津川市
中部日本書道会岐阜支部	各務原市		

中日青葉学園(20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
大矢相互不動産	稲沢市	小笠原 慎之介	名古屋市
兼松エレクトロニクス	名古屋市	中日総合サービス 従業員一同	名古屋市
中日ドラゴンズ	名古屋市		

* 匿名は省略しております

高額寄付(指定)

(令和6年4月～令和7年3月)敬称略、順不同

本部(20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車 親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
西浦不動無量寺	蒲郡市	愛知県健康づくり振興事業団
徳弘 妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
おおやま歯科医院	名古屋市	名古屋市内NPO法人など

*匿名は省略しております

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

	所 在 地
本 部	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市中央区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-6218
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3580-5452
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護・児童心理治療施設 中 日 青 葉 学 園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315
中日青葉学園三つ葉	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町小林131番地